

平成30年度

中堅幼稚園教諭等資質向上研修の手引



栃木県教育委員会

目 次

I	中堅幼稚園教諭等資質向上研修実施要項	1
II	中堅幼稚園教諭等資質向上研修の概要	
1	本県における中堅幼稚園教諭等資質向上研修の方針	2
2	中堅幼稚園教諭等資質向上研修体系図	3
III	受講手続きの流れ	
1	公立幼稚園等	4
2	国・私立幼稚園等	5
IV	総合教育センター等における研修	
1	趣旨	6
2	日程及び内容	6
V	園内等における研修	
1	趣旨	7
2	研修日数	7
3	研修内容及び方法	7
4	指導体制	7
5	実施上の配慮事項	7
VI	課題研究	
1	趣旨	8
2	研究テーマの設定	8
3	研究の進め方	8
4	研究の実施報告	8
	〔資料〕	
	○ 提出書類【様式】	9
	○ 参考「幼稚園教諭等の資質向上に関する指標」抜粋	17
	○ 提出文書等チェックリスト	18
	〔受講票〕	

(表紙写真 とちまるくん と 幼児教育センターマスコットキャラクターぴよちゃん)

I 中堅幼稚園教諭等資質向上研修実施要項

栃木県教育委員会
平成16年1月7日 決定
平成21年3月13日 改正
平成29年2月16日 改正

1 目的

中堅幼稚園教諭等資質向上研修（以下「中堅教員研修」という。）は、教育公務員特例法第24条の規定に基づき、幼稚園及び幼保連携型認定こども園（以下「幼稚園等」という。）における教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図ることを目的とする。

2 対象

県内公立幼稚園等の教諭及び保育教諭（以下「教諭等」という。）のうち、在職期間が11年を迎える者とする。ただし、国・私立幼稚園等の教諭等の参加も認めることとする。

3 内容

本研修は、教育公務員特例法第24条に規定する「中堅教諭等資質向上研修」として、保育の専門性を高める研修や今日的課題についての研修などを主な内容とし、次の日数行うものとする。

- (1) 総合教育センター等における研修 6日
- (2) 園内等における研修 10日

4 研修の実施方法

- (1) 園長は、研修の実施に当たり、公立幼稚園等においては市町村教育委員会、国・私立幼稚園等においては任命権者に当たる者（以下「任命権者」という。）の作成した評価基準により、事前に観察などを通して、個々の教諭等の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき評価案及び研修計画書案を作成し、任命権者に提出する。
- (2) 任命権者は、園長から提出された評価案と研修計画書案について調整を行った後、最終的に評価を決定し研修計画書を作成する。
- (3) 中堅教員研修の対象者は、研修計画書に基づき、長期休業期間等に、総合教育センター等において、保育に関する専門的研修等を年間6日受けるものとする。
- (4) 中堅教員研修の対象者は、研修計画書に基づき、主として園内において、課業期間に実際の保育実践を通じた保育研究や課題研究等を通じた研修を年間10日受けるものとする。
- (5) 園長は、研修終了時に、個々の能力、適性等の評価を再び行い、その結果に基づき報告書を作成し、任命権者に提出する。また、評価の結果はその後の研修等に活用するものとする。

5 研修体制の整備

- (1) 園長は、研修計画書に基づく研修が円滑に実施できるよう、研修環境の整備に努めるものとする。
- (2) 園長は、中堅教員研修の実施状況を把握し、年間を通して系統的、組織的な研修が行われるよう努めるものとする。

6 実施協議会

- (1) 県教育委員会は、次の事項について協議を行うため、実施協議会を設置する。
 - ① 研修計画
 - ② 評価基準
 - ③ その他実施上の諸問題
- (2) 実施協議会の設置要綱は、別に定めるとする。

7 その他

この要項に定めるもののほか、中堅教員研修の実施に関して必要な事項は別に定める。

附則

この要項は、平成16年4月1日から実施する。

附則

この要項は、平成21年4月1日から実施する。

附則

この要項は、平成29年4月1日から実施する。

Ⅱ 中堅幼稚園教諭等資質向上研修の概要

1 本県における中堅幼稚園教諭等資質向上研修の方針

幼稚園教育は学校教育の出発であり、幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることから、10年を経験した教員が個々の能力や適性等に応じ、各園での中堅としての役割を果たせる指導力を養うことは重要な課題である。

また、情報化やグローバル化といった急速な社会的変化の中で、幼児が予測困難な時代を生き抜くための力を育むようにすることなど、幼稚園・こども園（以下「幼稚園等」という。）に求められる役割も増えてきている。

そのような中、幼稚園教育要領等が改訂され、幼稚園等教員として10年を経験した教員には、以下のような資質が求められている。

○全体指標 ステージⅢ（おおむね11年目～主任等）

学年や分掌の運営等に関する知識及び技能を習得し、園運営のための企画力を有している。教育活動の実践力を一層高めるとともに、教職員の人材育成を行い、園長を補佐して教育目標の実現に向けた取組を、組織的に推進できる資質・能力を備えている。

「幼稚園教諭等の資質向上に関する指標」より抜粋

そこで、中堅教員としての資質向上を図るため、幼児教育センターにおける保育の専門性を高める研修や幼稚園等に求められている今日的課題等についての研修及び自らの課題や適性等に応じた園内研修等を取り入れ、以下のような重点項目を設定し実施する。

(1) 子どもの発達を的確に見通した教育

- ・ 幼児期から児童期への教育や接続期の指導の在り方等に関すること
- ・ 保育参観を通じた保育の改善やカリキュラムの工夫に関すること

(2) 今日的課題に対応した幼稚園等の在り方

- ・ 幼稚園教育要領等の改訂を踏まえた教育課程や子育ての支援に関すること
- ・ 特別支援教育に関すること

(3) 中堅教員（主任）としての役割

- ・ 幼児教育の方向性やミドルリーダーとしての役割等に関すること
- ・ 幼稚園等におけるカリキュラム・マネジメントや組織マネジメントに関すること

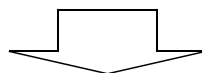
2 中堅幼稚園教諭等資質向上研修体系図

能力・適性等の評価・園内研修計画書の作成《4・5・6月》

- 園長は、任命権者の作成した評価基準に基づき、事前に観察などを通して個々の教諭等の能力・適性等について評価を行い、その結果に基づき評価案と園内研修計画書案を作成し、任命権者に提出する。
- 任命権者は、園長から提出された評価案及び園内研修計画書案について調整を行い、最終的に評価を決定し園内研修計画書を作成する。



総合教育センターにおける研修（6日）		園内等における研修（10日）
4月 ～ 6月	<ul style="list-style-type: none"> ○開講式 ○中堅教職員への期待 ○新しい学習指導要領等の目指す姿 ○研修オリエンテーション ○新教育要領等の全面実施に当たって 	<p>【課題研究のテーマに基づく研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○園内研修の企画・運営 ○園の諸課題に対する対応 ○保育参観及び保育研究 ○地域や関係機関との連携 ○外部研修への参加 <p style="text-align: right;">等</p>
7月 ～ 8月	<ul style="list-style-type: none"> ○幼小接続の視点からの教育課程の工夫・改善 ○幼児期における主体的・対話的で深い学び ○学校力を高めるカリキュラム・マネジメント ○学校力を高める組織マネジメント ○幼児期の教育のセンターとしての役割 ○幼児期における特別支援教育 	
9月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> ○教育課程と子どもの姿のつながり ○教育課程と指導計画の評価・改善 	
12月	<ul style="list-style-type: none"> ○課題研究の成果と課題 ○これからの園内研修の在り方 ○ミドルリーダーに期待すること ○閉講式 	



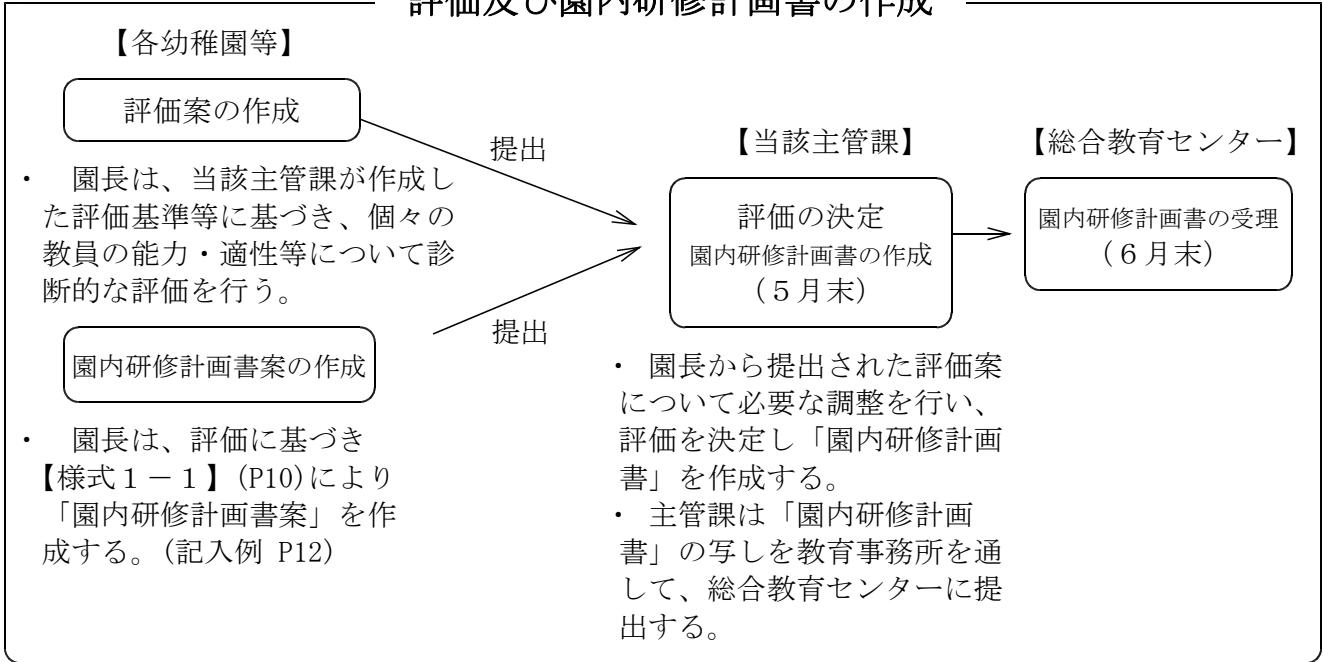
研修成果の評価《年度末》

- 研修終了時に、個々の能力、適性等を再び評価し、その結果をその後の研修等に活用する。

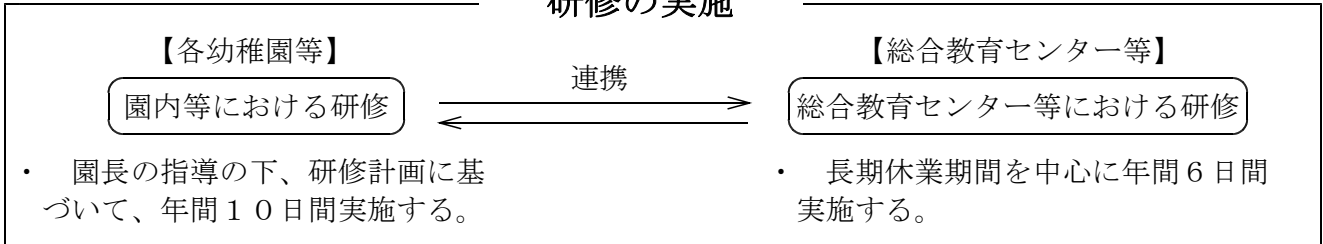
Ⅲ 受講手続きの流れ

1 公立幼稚園等

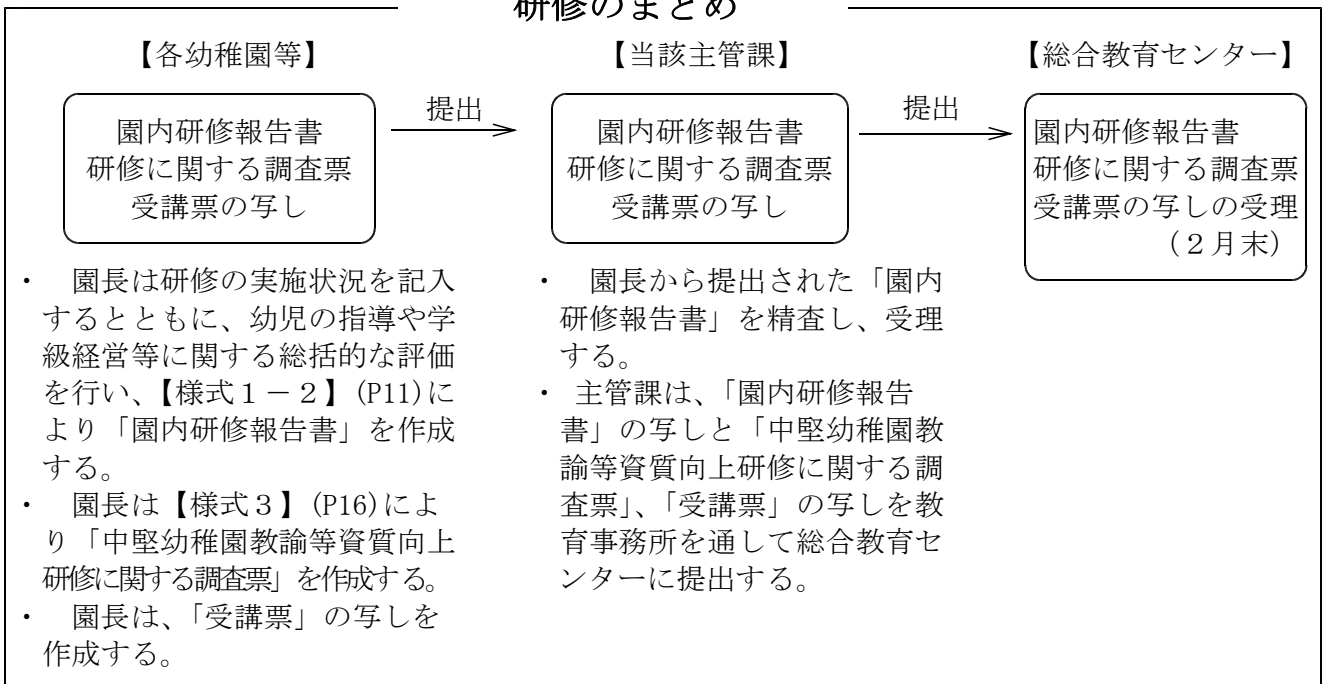
評価及び園内研修計画書の作成



研修の実施



研修のまとめ



2 国・私立幼稚園等

評 価

【各幼稚園等】

評価の実施及び決定

- 園長は、県教育委員会が示した「幼稚園教諭等の資質向上に関する指標」(P17)を参考に、個々の教員の能力・適性等について、診断的な評価を行い評価を決定する。



研修計画書の作成

【各幼稚園等】

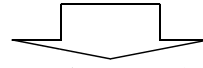
園内研修計画書の作成

提出

【総合教育センター】

園内研修計画書の受理
(6月末)

- 園長は、評価に基づき、【様式1-1】(P10)により「園内研修計画書」を作成し、総合教育センターに提出する。



研修の実施

【各幼稚園等】

園内等における研修

連携

【総合教育センター等】

総合教育センター等における研修

- 園長の指導の下、研修計画に基づいて、年間10日間実施する。
- 研修計画に基づいて、長期休業期間を中心に年間6日間実施する。



研修のまとめ

【各幼稚園等】

園内研修報告書
研修に関する調査票
受講票の写し

提出

【総合教育センター】

園内研修報告書
研修に関する調査票
受講票の写しの受理
(2月末)

- 園長は、研修の実施状況を記入するとともに、幼児の指導・学級経営その他に関する総括的な評価を行い【様式1-2】(P11)により「園内研修報告書」を作成し、総合教育センターに提出する。
- 園長は【様式3】(P16)により「中堅幼稚園教諭等資質向上研修に関する調査票」を作成し、総合教育センターに提出する。
- 園長は、「受講票」の写しを作成する。

IV 総合教育センター等における研修

1 趣旨

総合教育センター等における研修は、幼児の発達の理解や環境を通して行う保育の在り方等に関して、広い視野に立った豊かな識見、確かな理論、優れた実践的指導力等を養うことを目的とする。

2 日程及び内容

区分	期日	研修内容	開催時間・会場
第1日	5/22 (火)	【他校種の中堅教諭等資質向上研修と合同】 開講式 講話「中堅教職員への期待」 県総合教育センター所長 説明「栃木県教育振興基本計画2020-教育ビジョンとちぎ」 県教育委員会総務課職員 講話「新しい学習指導要領等の目指す姿」 県総合教育センター職員 ----- 研修オリエンテーション 講話「新教育要領等の全面実施に当たって」 県幼児教育センター顧問	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター
第2日	7/13 (金)	講話・演習「子どもの学びをつなげる」※小・中20年目と合同 県幼児教育センター職員 演習「幼小接続の視点からの教育課程の工夫・改善」 県幼児教育センター職員 ----- 講話・演習「幼児期における主体的・対話的で深い学びとは」 県幼児教育センター職員	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター
第3日	7/25 (水)	講話・演習「学校力を高めるカリキュラム・マネジメント」 県総合教育センター職員 ----- 講話・演習「学校力を高める組織マネジメント」 県総合教育センター職員	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター
第4日	8/24 (金)	講話・演習「地域における幼児期の教育のセンターとしての役割とは」 県幼児教育センター専門員 ----- 講話・演習「幼児期における特別支援教育」 県幼児教育センター職員	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター
第5日	10/30 (火)	保育参観・保育研究「教育課程と子どもの姿のつながり」 県幼児教育センター職員 ----- 講話「本園における教育課程の評価・改善」 宇都宮大学教育学部附属幼稚園副園長 演習「教育課程と指導計画の実施と改善」 県幼児教育センター職員	9時～15時30分 宇都宮大学教育学部 附属幼稚園
第6日	12/17 (月)	実践報告「課題研究の成果と課題」 県幼児教育センター職員 ----- 演習「これからの園内研修の在り方」 県幼児教育センター職員 【他校種の中堅教諭等資質向上研修と合同】 講話「ミドルリーダーに期待すること」 閉講式	9時30分～16時 (受付9時) 総合教育センター

V 園内等における研修

1 趣旨

園内研修は、総合教育センター等における研修において習得した知識や経験を基に、研修教員の能力、適性等に応じた研修を行うことによって、個々の専門性の向上や得意分野の伸長を図る。

2 研修日数

研修は、年間10日実施する。

3 研修内容及び方法

(1) 内容

研修内容は、評価の結果に基づき、設定する。

(2) 方法

研修は、基本的に園内において実施し、園長等の指導及び助言を受けるものとする。

4 指導体制

(1) 園長は、教職員全体に対し、本研修の内容及び運営について理解を求めるとともに、園や研修教員の実情、指導内容と園務分掌との関連等に配慮して、園内研修の推進体制を整える。

(2) 園長等は、研修教員に対し、講話や保育研究等の指導及び助言を行い、年間を通して計画的、組織的な研修となるよう、園内教職員との連絡・調整を図る。

5 実施上の配慮事項

園長は、研修教員の園務分掌や経験の状況に応じ、研修方法や形態を工夫するとともに、研修教員本人の自己評価や意見等を聴取することによって、研修教員が主体的に研修できるよう配慮する。

VI 課題研究

1 趣旨

研修教員の資質・能力や園の実情に応じて、幼児教育における現代的な課題を基に研究テーマを設定し、主体的に課題の解明に取り組むことにより、実践的指導力の向上を図る。

2 研究テーマの設定

次のような例を参考にし、研究テーマを設定する。

《研究テーマの例》

- ・教育要領の理解と保育への反映
- ・教育課程、指導計画の工夫・改善
- ・保育の評価の在り方
- ・特別な支援を要する幼児を支える園内体制
- ・小学校との連携
- ・親も子も育つ子育ての支援
- ・同僚性を発揮した園内研修の在り方
- ・PDCAサイクルを生かした学校評価 等

3 研究の進め方

- (1) 研修教員は、園の実情や各自の課題意識、総合教育センター等における研修の第1日の研修オリエンテーション等を基に、研究テーマを設定する。第2日に、【様式2—1】(P13)「課題研究計画書」を持参する。
- (2) 研修教員は、課題研究の実施計画について、園長等の指導及び助言を得ながら第6日までに自主的、計画的に課題を追究する。その際、課題研究の検証の場として園内研修でテーマに基づく保育参観・研究を行ったり、カリキュラムの見直し、改善をしたりすると効果的である。
- (3) 研修教員は、園長や総合教育センター職員等からの指導及び助言を参考にして研究を進め、総合教育センター等における研修の第6日に、課題研究成果発表を行う。

4 研究の実施報告

研修教員は、総合教育センター等における研修の第6日に、【様式2—2】(P14)「課題研究報告書」及び課題研究成果発表資料を持参し、提出する。

提出書類【様式】

【様式1—1】 中堅幼稚園教諭等資質向上研修園内研修計画書

【様式1—2】 中堅幼稚園教諭等資質向上研修園内研修報告書

【様式2—1】 課題研究計画書

【様式2—2】 課題研究報告書

【様式3】 中堅幼稚園教諭等資質向上研修に関する調査票

(注) 文書の形式はA4判、縦長、横書きとします。

※様式については、幼児教育センターホームページよりダウンロードできます。

参 考

幼稚園教諭等の資質向上に関する指標 抜粋



【様式 1—1】

中堅幼稚園教諭等資質向上研修園内研修計画書

園名 _____

氏名 _____

期日	研修名及び研修場所、時間等	研修内容及び参加者等

(公立幼稚園等)

〇〇主管課長 様

平成 年 月 日

(国・私立幼稚園等)

栃木県総合教育センター所長 様

上記を当該研修教員の研修計画とします。

園 名
園 長 名

印

【記入例】

中堅幼稚園教諭等資質向上研修園内研修計画書

園名 ○○幼稚園

氏名 栃木 花子

期日	研修名及び研修場所、時間等	研修内容及び参加者等
5/○	園内研修の企画・運営① 会議室 16:00～17:00	テーマの設定(全職員) ・全職員で幼児の実態を明らかにし、協議 ・研究の方向性について決定 例:協同する経験を視点とした指導計画の見直し
5/○	園内研修の企画・運営② 職員室、園長室 16:00～17:00	「研究計画作成」(研修者) ・今後の日程と実施内容 ・各教員の役割分担 例:各学年で、幼児が協同して遊ぶようになるために大切な姿を洗い出す。 「研修計画の決定」(研修者・園長) ・研修計画の確認と見直し
○○	園内研修の企画・運営③ ランチルーム 16:00～17:00	「研修計画についての説明」(研修者) ・研修計画について提案(研修者) ・協議 例:協同する経験とは何か。(全職員) ・協議の進行・まとめ(研修者)
○○	園内研修の企画・運営④ ランチルーム 16:00～17:00	「協同する経験とは」(全職員) ・各教員からの提案 ・提案に基づく協議 「研修準備」(研修者) ・次回の提案事項の作成・説明資料準備 ・第6日の研修の講師手配 ・研究保育の準備(保育案の提案、記録用紙の作成)
○○	園内研修の企画・運営⑤ 保育室 15:30～17:00	「協同する経験を視点とした公開保育」(全職員) ・保育研究 ・指導計画の見直し
○○	園内研修の企画・運営⑥ 遊戯室 15:00～16:30	「外部講師による『協同する経験と指導計画』の講話」 ・質疑応答 (全職員)
○○	園内研修の企画・運営⑦ 職員室 16:00～17:00	「協同する経験を視点とした指導計画の見直し」(研修者) ・指導計画の見直し案の作成 ・園内研修のまとめの作成
○○	評価① ランチルーム 16:00～17:00	「自園の自己評価の実施」 ・自分の幼稚園の教育等に関する自己評価について 全職員に説明(研修者) ・自己評価の実施(全職員)
○○	評価② 職員室・園長室 16:00～17:00	「自園の自己評価のまとめ」(研修者・園長) ・全職員の評価結果のまとめを作成 ・次回提案資料の準備
○○	評価③ ランチルーム 15:30～17:00	「自園の自己評価に基づく改善」 ・結果のまとめについて提案(研修者) ・努力点、さらに伸ばしたい点について具体的な方策を検討する。(全職員)

平成 年 月 日

(公立幼稚園等)

○○主管課長 様

(国・私立幼稚園等)

栃木県総合教育センター所長 様

上記を当該研修教員の研修計画とします。

園 名

園 長 名

印

【様式 2—1】 課題研究計画書

平成〇〇年度中堅幼稚園教諭等資質向上研修課題研究計画書

園 名

氏 名

1 研究テーマ

2 テーマ設定の理由

3 課題研究の主な内容

【様式 2—2】 課題研究報告書

平成〇〇年度中堅幼稚園教諭等資質向上研修課題研究報告書

園 名

氏 名

1 研究テーマ

2 テーマ設定の理由

3 課題研究の主な内容

4 研究の成果と今後の課題

【記入例】課題研究計画書

平成〇〇年度中堅幼稚園教諭等資質向上研修課題研究計画書

園名	〇〇幼稚園
氏名	栃木 花子

1 研究テーマ

幼児期における「主体的・対話的で深い学び」とは～保育参観・研究を通して～

2 テーマ設定の理由

平成30年度から全面実施となった新しい幼稚園教育要領では、幼児期から小学校・中学校へ学びのつながりとして、幼児期に育みたい資質・能力が示されている。これらは、小学校以降の学習や生活の基盤となる非認知的な能力であり、本園では、これまでも「遊び」の中でこのような姿が見られる「環境の構成」について、研究してきた。

また、H29年3月の要領等の改訂において、「主体的・対話的で深い学び」の在り方が示されたが、幼児期においても、この視点で幼児の遊び込む姿を考えることは、重要であると考え

る。そこで、今年度は、具体的な子どもの姿を基に、幼児期における「主体的・対話的で深い学び」の在り方を共通理解し、指導計画や教育課程に反映するため、本テーマを設定した。

3 課題研究の主な内容

(1) 新しい幼稚園教育要領についての理解

- ・園内研修において、全職員で改訂の趣旨やポイントを共通理解する。
- ・外部研修への参加や書物等から、幼児教育の方向性等について、最新の情報や知識を習得する。

(2) 保育参観及び研究における分析・考察

- ・園内研修において、幼児期における「主体的・対話的で深い学び」の在り方について提案する。
- ・公開保育及び研究で、具体的な子どもの姿を基に協議する。

(3) 幼児期における「主体的・対話的で深い学び」についてのまとめ

- ・保育研究等を通して見えてきた幼児期における「主体的・対話的で深い学び」のキーワードを年齢ごとに整理する。
- ・整理したキーワードを基に、指導計画の見直し・改善をする。

【様式3】中堅幼稚園教諭等資質向上研修に関する調査票

園 名

園 長 名

印

研修教員の該当する職名を○で囲んでください。

学級担任・副担任等・教務主任・学年主任・その他（ ）

今年度の研修につきまして、お気付きの点がございましたら御記入ください。

1 研修の日程など運用面について

2 取り入れてほしい研修など内容面について

3 研修教員の今後の活躍や活用の場について

4 その他 自由意見

【参 考】幼稚園教諭等の資質向上に関する指標 抜粋

		ステージⅢ(おおむね11年目～主任等)
全体指標		学年や分掌の運営等に関する知識及び技能を習得し、園運営のための企画力を有している。教育活動の実践力を一層高めるとともに、教職員の人材育成を行い、園長を補佐して教育目標の実現に向けた取組を、組織的に推進できる資質・能力を備えている。

○保育に関する指標

		ステージⅢ(おおむね11年目～主任等)
保育全般		保育を確実に身に付け、同僚への支援・助言を行い、協働的・組織的な保育体制づくりに貢献し、学年や園の課題解決のための企画力を身に付けている。
幼児理解	発達の理解	幼児の発達を見通して、教育課程に基づき、園全体の保育を調整し、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識しながら保育を展開している。
	一人一人の幼児の特性や発達の理解	同僚のモデルとなり、一人一人の幼児の特性や発達に応じた適切な対応をしている。
指導計画	教育要領等の理解	教育要領等の内容を把握し、保育の課題等に対して、同僚に支援・助言をしている。
	指導計画の作成ねらいの明確化	教育課程に基づき、学年間を見通した指導計画を作成するとともに、望ましい保育の実践及び省察を継続できるよう、同僚に支援・助言をしている。
	教材研究	学級の状況や幼児の発達を踏まえた保育を展開するための教材について知識をもち、同僚に情報提供や支援・助言をしている。
指導の工夫	環境の構成・再構成	地域や園全体の物的・人的環境を視野に入れ、物や場を生かしたり、人材の活用を図ったりするなどの工夫をしている。
	援助	同僚のモデルとなったり、協働したりしながら、学びに向かう集団づくりを意識して、一人一人の幼児の特性を生かす援助をしている。
	特別な配慮を必要とする幼児への指導	特別な配慮を必要とする幼児について、専門性を高め、同僚への支援・助言を行うとともに、園内体制の中心となり、適切な手立てを講じている。
評価の工夫	記録の蓄積	同僚が幼児の育ちや保育の実践について、適切な評価を蓄積できるよう、継続して支援・助言をしている。
	記録に基づく保育の工夫・改善	日々の記録等の蓄積を基に、同僚と連携し、長期的な指導計画と照らし合わせながら、保育の工夫・改善を図っている。

○参画・経営に関する指標

		ステージⅢ(おおむね11年目～主任等)
参画・経営全般		教育目標の実現に向けて、園の課題を把握するとともに、解決に向けた具体的な取組を提案したり、実践したりしている。
園務分掌	園務分掌への取組	自身の園務分掌について、工夫や改善をして積極的に取り組むとともに、同僚に適切な支援・助言を行っている。
同僚性	学級経営	園全体を見通して、各学級の状況を把握し、実態や課題に応じて、同僚に適切な支援・助言を行っている。
	学年経営	教育目標や経営方針を踏まえた学年経営ができるよう、管理職と連携を図ったり、同僚と協力したりするなど努めている。
研修	園外研修	研修に進んで参加し、幼児教育の諸課題に関する知識等を吸収するとともに、研修成果を同僚と共有し、園の課題解決等に生かしている。
	園内研修	園の諸課題等の解決に向け、管理職等と調整しながら、中心となって、研修を企画・立案・実施する等、コーディネートしている。
危機管理	安全管理 安全教育	園全体の危機管理を理解し、安全教育や防災等に関する取組が適切に行われるよう努めている。
家庭・地域・関係機関との連携	保護者対応 子育ての支援	保護者との信頼関係の構築や保護者支援に関する中核的な立場を自覚し、役割を担っている。また、預かり保育の内容を提案するなどして、幼児の育ちを支えている。
	地域における幼児期の教育のセンターとしての役割	地域の子育ての支援の中核として、在園児の保護者を含め、家庭・地域・関係機関等との連携・協力を努めている。
	小学校との連携	小学校との相互理解を深めるために、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」等を基に、互恵性のある連携を進めている。

提出文書等チェックリスト

チェック欄	提出物	提出期限	提出した日
<input type="checkbox"/>	園内研修計画書	6月末	
<input type="checkbox"/>	課題研究計画書	7月13日(第2日)	
<input type="checkbox"/>	課題研究報告書	12月17日(第6日)	
<input type="checkbox"/>	園内研修報告書	2月末	
<input type="checkbox"/>	研修に関する調査票		
<input type="checkbox"/>	受講票の写し		

※送付する際には、封筒に「中堅幼稚園教諭等資質向上研修関係書類在中」と記載してください。



お疲れ様でした。

受講票

園名

氏名

○第1日【 月 日 () 会場： 】

	受講印		園長印		

○第2日【 月 日 () 会場： 】

	受講印		園長印		

○第3日【 月 日 () 会場： 】

	受講印		園長印		

○第4日【 月 日 () 会場： 】

	受講印		園長印		

○第5日【 月 日 () 会場： 】

	受講印		園長印		

○第6日【 月 日 () 会場： 】

	受講印		園長印		

◆ 1年間の研修の成果 ◆

	園長印		

栃木県総合教育センター幼児教育部
栃木県幼児教育センター

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070番地

TEL 028-665-7215

FAX 028-665-7216

e-mail : yokyo-c@tochigi-edu.ed.jp

URL: <http://www.tochigi-edu.ed.jp/center/youji/>

